

## お互いの良さを認め合い、共に支え合う集団づくりを推進する

ねがい

### 〈目的〉

様々な活動において、教師が児童・生徒の良さを賞賛したり、子どもたちがお互いを認め合ったりする機会を設定し、自尊感情を高めるとともに、支持的な学級・学年の風土づくりを行います。

つながり

### 〈内容〉

#### ● 異年齢集団活動の実施

中学生全員と小6合同で町内の清掃活動を実施しました。国道の歩道清掃を共同で行うことで、故郷を大切に、住みよい町づくりをめざすことができました。また、小学生は中学生の行動やリーダー性を学ぶことができ、中学生は自尊感情の向上につながられました。

「国土交通省四国地方整備局からの感謝状」受賞  
(平成24年度)



【小中合同で町内清掃をしている様子】

#### ● 清掃活動・ボランティア活動の充実

清掃活動が自主的・自発的な活動に高められるよう、小学校では「黙って清掃活動」を、中学校では「黙って無言活動」という名のもと、集中して清掃に取り組む活動を行っています。また、中学校では異学年で学年縦割り清掃を実施し、清掃活動を通して、お互いの良さに触れたり、認め合ったりする機会を設けています。

また、ボランティア活動については、小学校では、毎月1・11・17日に自主清掃等の活動を、中学校では「朝ボランティア」の名のもとに、月に1日、始業前のボランティア清掃活動を行っています。このように小中でねらいを共にした共通実践を図っています。



【朝ボランティア（豊浜中）の様子】

#### ● 児童生徒に関する共通理解（職員連携の充実）

課題をもつ児童の個別指導記録簿（支援の記録）により、小学校から中学校へ適切な支援を引き継ぎ、スムーズに中学校生活がスタートできるよう配慮しています。また、小中合同で事例検討会を開き、情報交換とともに専門家からの発達の長期的スパンに立ったスーパーバイズにより問題行動や不登校問題への適切な対応力の向上につながるような取組を行いました。

高まり

### 〈成果〉

小中合同や連携した取組（清掃やボランティア活動）を通して、小学生の反応からは友だちの良さや中学生の行動力・リーダー性を学ぶことができました。中学生は自尊感情の向上につながりました。また、友だち同士でお互いを認め合うことの大切さを学ぶとともに、よいよい集団づくりにつながることができました。